

エコアクション 21

環境経営レポート

(令和 4 年度)

運用期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月



令和 5 年 6 月 30 日

有限会社 豊原商会

目次

1. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	2～3
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4～7
3. 環境経営目標及びその実績・・・・・・・・	8
4. 環境経営計画及び取組結果とその評価、 次年度の取組内容・・・・・・・・	9～12
5. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無・・・・・・・・	13
6. 代表者による全体の評価と見直し・指示・・・・・・・・	14

1.環境経営方針

基本理念

有限会社豊原商会は、自然とのよりよい共存のために地域環境の改善を目指し、主業務である産業廃棄物処理事業の活動を通じて地域環境の保全に積極的に取り組みます。

そのために社員一同が常に環境問題に対して積極的に行動し、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し、定期的に見直すことによって、地域環境保全活動の継続的な改善を図ります。

1. 行政と一体となって、廃棄物の分別を徹底します。
2. 二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
3. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
4. 環境方針を全従業員に周知徹底します。
5. 環境関連法規等を遵守し、事業活動を推進します。
6. 地域活動に積極的に取り組みます。

平成 30 年 6 月 1 日 改定
有限会社 豊原商会
代表取締役 豊原大造

SDGs未来への約束

- ・私たちは男女を問わず多様な人たちがともに活躍できる社会を目指します。
- ・私たちは事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます。
- ・私たちはエコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減に努めます。
- ・私たちは生物多様性の保全のための取り組みを行います。
- ・私たちはパートナーシップ協定やボランティア活動を通じて地域・社会貢献に取り組めます。



2.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 豊原商会

代表取締役 豊原 大造

創業 昭和 56 年 10 月 1 日

(2) 所在地

本社 山口県下関市豊田町大字矢田 471 番地

事務所兼作業場 山口県下関市豊田町大字矢田 470 番地 1 号

作業場 山口県下関市豊田町大字矢田 474 番地 1 号

菊川支店 山口県下関市菊川町大字下岡枝茶屋川 884 番地 3 号

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名

環境管理責任者 豊原 大造

環境管理担当者 豊原 千恵

(4) 連絡先

TEL 083-766-1862 FAX 083-766-0312

E-mail toyoharasyoukaichie@sirius.ocn.ne.jp

(5) 事業の内容

1. 産業廃棄物の収集・運搬
2. 特別管理産業廃棄物の収集・運搬
3. 一般廃棄物の収集・運搬
4. 貨物自動車運送業
5. 自転車部分品の加工

(6) 事業の規模・実績

活動規模	単位	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
一般廃棄物収集運搬量	t	1847	1867	1884.6
産業廃棄物収集運搬量	t	26	49.8	29.5
売上高	百万円	165	189	162
従業員	人	16	16	16
床面積	m ²	358.06	358.06	358.06

(7) 当社の事業年度

4 月～3 月

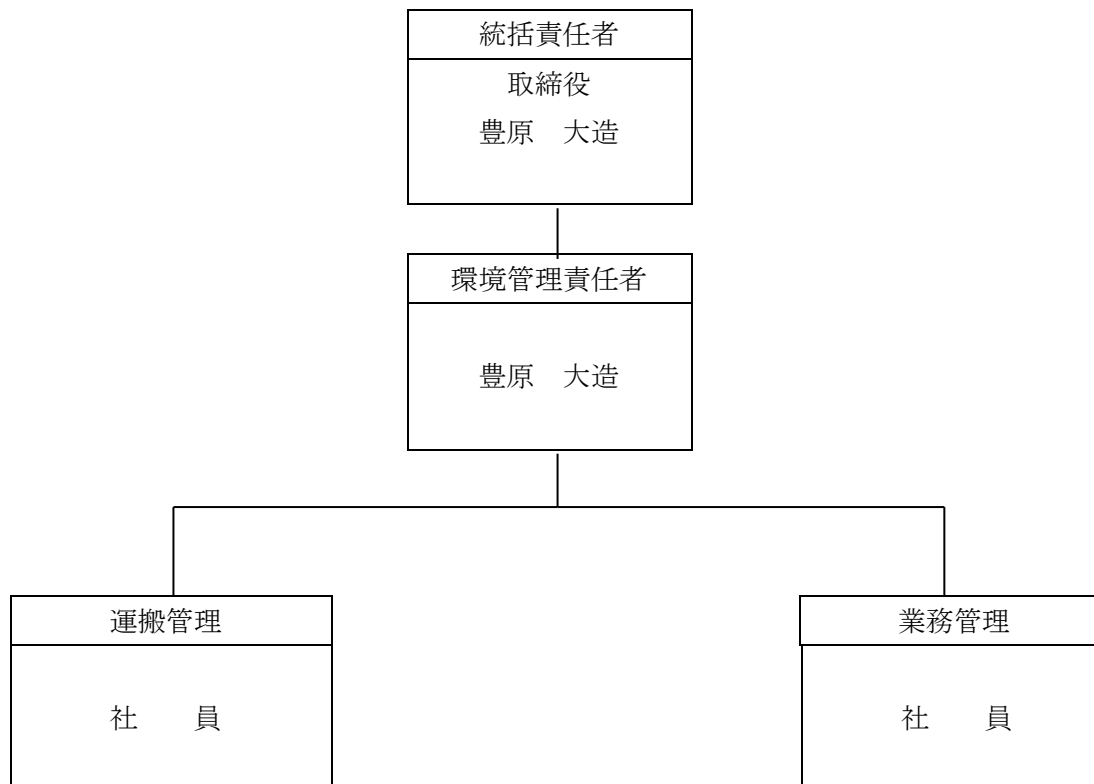
(8) 認証・登録範囲

対象事業者名 : 有限会社 豊原商会

対象事業所 : 全事業所

対象活動 : 全活動

(9) 組織図



氏名	所属・役職	役割・責任・権限・使命
豊原 大造	代表取締役	全体の総括、環境方針の策定、環境への取り組みの実施、全体の評価と見直し。
豊原 千恵	事務局	社全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を社長に報告する。
豊原 千恵	総務局	電力・水・車燃料・灯油消費量の管理。
豊原 大造	代表取締役	廃棄物の廃棄量管理。

(10) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03500028781 号
許可期間 令和 2 年 2 月 23 日～令和 7 年 2 月 22 日
下関市 : 第 07510028781 号 (積替え又は保管を含む。)
許可期間 令和 2 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

山口県 : 第 03550028781 号
許可期間 令和 2 年 10 月 2 日～令和 7 年 10 月 1 日

一般廃棄物収集運搬許可証

下関市 : 第 11045 号
許可期間 令和 5 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日

廃棄物取扱種類

一般廃棄物 : 可燃物・不燃物・資源物
産業廃棄物 : 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず (がれき類を除く。)、陶磁器くず (自動車等破砕物を除く。以上 3 種類)、汚泥、廃油、廃アルカリ、木くず、ゴムくず、がれき類 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 9 種類
水銀使用製品 (ガラスくず、金属くず、廃プラスチック) (特別産業廃棄物であるものを除く。)
特別管理産業廃棄物 : 廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃酸 (水素イオン濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃アルカリ (水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。)
廃石綿等 以上 4 種類

保管場所の内容

面積 : 328.65 m²
保管上限 : 405.84 m³
最大高さ : 2.55m
種類 : 廃油、廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず等、がれき類、水銀使用製品 (これらのうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上 7 種類

一般貨物自動車運送許可証　：　中国自貨第 428 号

(1 1) 設備の内容

車両　：　塵芥車両 7 台　　キャブオーバー車両 6 台
バン 1 台　　脱着装置付コンテナ車両 1 台
普通自動車 1 台　　フォークリフト 5 台

(1 2) 資本金

金 1000 万円

3.環境経営目標及びその実績

管理責任者	担当者
	
令和5年5月29日	令和5年5月29日

環境経営目標			単位	2021年度 (基準年度)	2022年度 (目標) (実績) (達成判定)			2023年度 目標	2024年度 目標
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	139,034	現状維持	138,368	○	現状維持	現状維持
	a	電力使用量の削減	kWh	32,473	現状維持	32,498	×	現状維持	現状維持
	b	灯油使用量の削減	ℓ	200	現状維持	310	×	現状維持	現状維持
	c	ガソリン使用量の削減	ℓ	654	現状維持	538	○	現状維持	現状維持
	d	軽油使用量の削減	ℓ	46,350	現状維持	46,061	○	現状維持	現状維持
	e	LPG使用量の削減	kg	10.2	現状維持	30.5	×	現状維持	現状維持
2	総排水量の削減		m ³	753	現状維持	751	○	現状維持	現状維持
3	廃棄物排出量(自社分)の削減		t	0.62	現状維持	0.48	○	現状維持	現状維持
4	分別違反ゴミの削減		件	56	55 0.10%	32	○	31 0.10%	30 0.20%
5	廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮			行動目標					
6	車両燃料の削減			行動目標					
7	環境コミュニケーション			行動目標					

備考：二酸化炭素の排出係数は2021年度の中国電力0.536kg-CO₂/kWhを用いた。

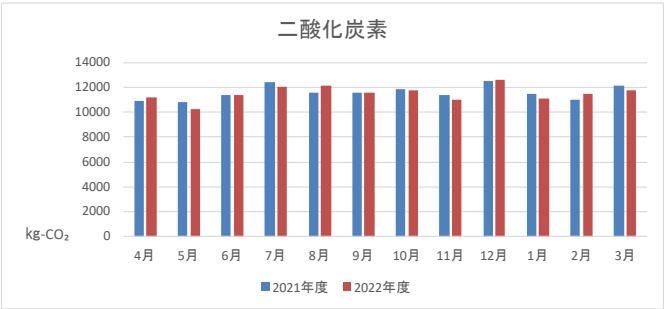
4.環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

1.二酸化炭素総排出量の削減



管理責任者	担当者
豊原	豊原
令和5年5月25日	令和5年5月25日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	10950	10787	11405	12398	11569	11558	11822	11426	12502	11526	10984	12107	139034
2022年度	11171	10244	11390	12057	12190	11575	11738	11004	12639	11074	11466	11820	138368

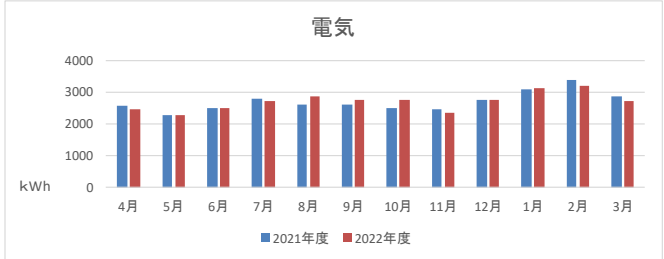


<取組項目別>

(電気) 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
電力使用量の削減	1 エアコンの温度設定、夏28℃・冬20℃	△	・夏季のエアコンのつけっぱなしが目立った。また設定温度を急に下げるのではなく、まず窓を開ける等換気をして部屋温度を下げてからエアコンをつけるようにする。 ・グリーンカーテンの検討。
	2 消灯の徹底	○	
	3 クールビズ、ウォームビズ	○	
	4 長時間席を離れる時のパソコン電源off	○	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	2566	2284	2485	2789	2619	2626	2514	2454	2776	3098	3395	2867	32473
2022年度	2477	2263	2483	2713	2861	2775	2759	2342	2760	3141	3190	2734	32498



(灯油) 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
灯油使用量の削減	1 暖房温度の適正管理	△	・1月に昨年より多く使用した為、来年度は温度管理を徹底する。

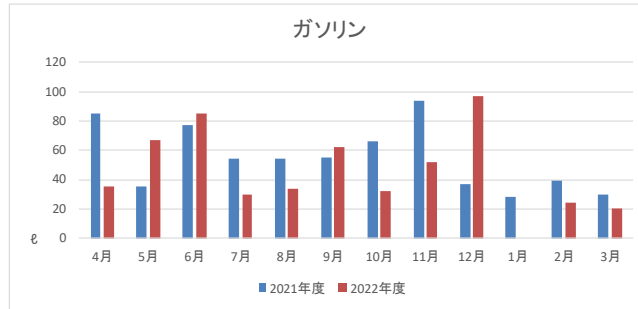
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度										200			200
2022年度										160	150		310



(ガソリン) 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
ガソリン 使用量の削減	1 エコドライブ	○	・目標達成。
	2 アイドリングストップ	○	・社用車の買い替えは今後も順次可能な限り、ハイブリット車にするよう検討。
	3 排ガス規制の車両を中・長期で買い替える	○	

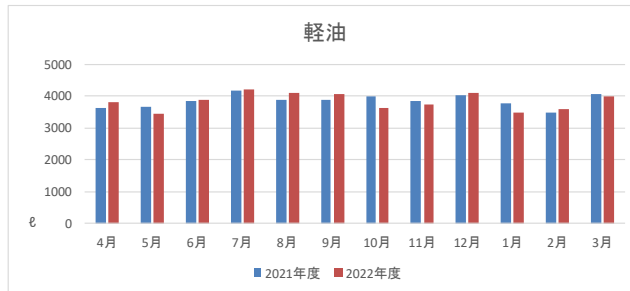
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	85	35	77	54	54	55	66	94	37	28	39	30	654
2022年度	35	67	85	30	34	62.3	32	52	97	0	24	20	538.3



(軽油) 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
軽油使用 量の削減	1 エコドライブ	○	・収集経路における通行止め等、事前には行政から連絡をもらうことで
	2 アイドリングストップ	○	迂回経路を思案し、収集をスムーズに行うことができた。
	3 排ガス規制の車両を中・長期で買い替える	○	・車両の買い替えは、今後も引き続き実施する。

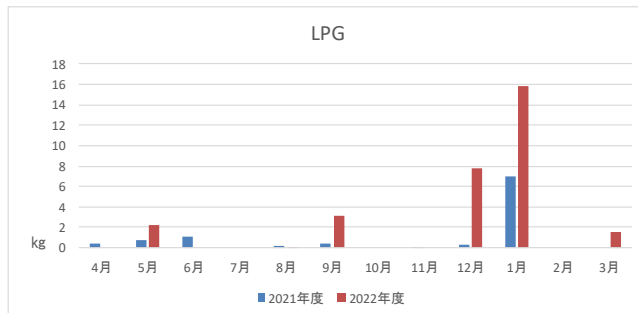
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	3637	3682	3838	4176	3892	3886	4004	3839	4041	3783	3502	4070	46350
2022年度	3797	3451	3876	4196	4113	4064	3621	3745	4088	3490	3610	4010	46061



(LPG) 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
LPG使用 量の削減	1 給湯器等の効率使用	○	・事務所の温泉利用による増加とみられる。社員には快適に仕事をしてもらいたいため、今後も温泉利用は継続。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	0.4	0.7	1.1	0	0.2	0.4	0	0.1	0.3	7	0	0	10.2
2022年度	0	2.2	0	0	0.1	3.1	0	0	7.8	15.8	0	1.5	30.5



2.総排水量の削減

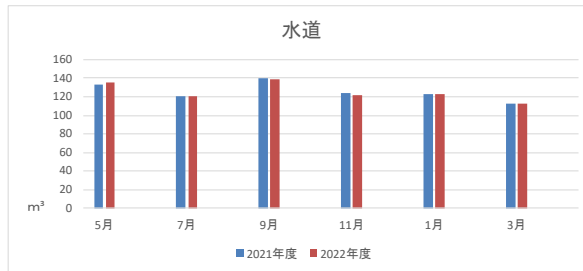


活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
節水活動	1 水を出しっぱなしにしない	○	目標値達成。次年度も継続。
	2 節水コマ導入	○	

(2ヶ月毎検針)

	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
2021年度	133	120	140	124	123	113	753
2022年度	135	120	139	122	123	112	751



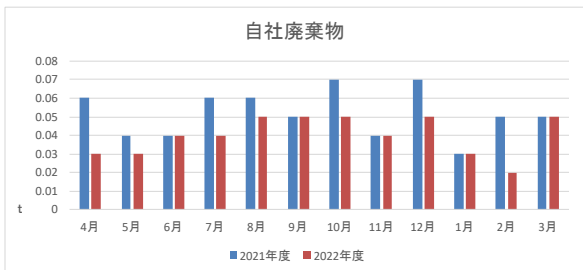
3.廃棄物排出量の削減



活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
リサイクルの推進	1 コピー用紙の両面使用	○	目標達成。次年度も継続。
	2 縮小してコピーし、コピー用紙の枚数を減らす	○	
	3 廃棄物の分別とリサイクル	○	
省資源	1 文書の電子化への取組	○	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	0.06	0.04	0.04	0.06	0.06	0.05	0.07	0.04	0.07	0.03	0.05	0.05	0.62
2022年度	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	0.03	0.02	0.05	0.48

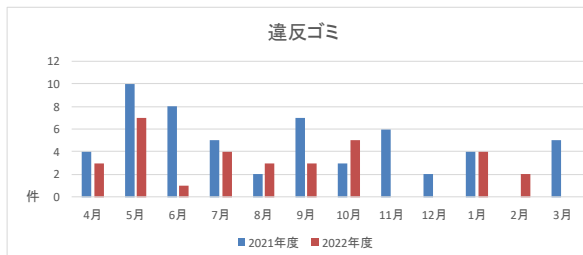


4.分別違反ゴミの削減及び分別作業での適正分別の推進

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
違反ゴミの削減	1 違反シールを貼り、市に連絡。	○	・昨年同様行政との協働がよくでき、違反ゴミ減少につながった。
適正分別の推進	1 排出事業者責任の徹底	○	・事前に電話にて分別してもらえよう依頼。
	2 排出事業者自らのゴミの減量・リサイクルの取組	○	・弊社が分別する場合は、手数料別途請求する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	4	10	8	5	2	7	3	6	2	4	0	5	56
2022年度	3	7	1	4	3	3	5	0	0	4	2	0	32



5.廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮



活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
社用車の切り替え	ハイブリット車や低燃費車、低排出ガス認定車等の切替を考慮	○	・今年は買い替えはなかったが、今後も随時更新する。
車両使用の配慮	1 エコドライブ	○	・日常点検はよく出来ており、些細なことでも報告があり車両状況が大変分かりやすい。今後も継続。 ・収集した数をチェックすることで、積み忘れもなくクレームもなかった。今後も継続。
	2 日常・定期点検の実施	○	
収集運搬の配慮	1 積み忘れをしない	○	
	2 走行距離の短縮化	○	
	3 汚した場合の清掃徹底	○	

6.車両燃料の削減

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
車両の燃費管理	車両ごとの燃費を月毎に記録する。	○	・車両ごとの燃費やℓ当りの距離がどれだけかかったかを毎月報告。また、それをグラフで見える化するなどで、燃費管理意識を高めた。今後も継続。

7.環境コミュニケーション



活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組目標	活動項目	取組結果	評価、次年度の取組内容
(外部)			
環境コミュニケーション	HPを活用し、事業活動等を随時公表する	○	・HP更新は、今後も継続。
地域奉仕活動等の参加	地域奉仕活動等に積極的に参加する	○	・小学校の廃品回収に参加。今後も継続。 ・地域の子供達の何かの役に立てればと、小学校に寄付金を送らせて頂いた。(AED等設置)
美化活動	会社周辺の清掃徹底、車両の洗車徹底	○	・「やまぐち地域防災応援団」の活動報告書作成。引続き、地域貢献活動をしていく。
(内部)			
周知の徹底	随時、指導教育訓練記録を作成し、掲示する。	○	・『SDGs未来への約束』を休憩室に掲げ、従業員に環境保全を常に意識させた。
従業員のレベルアップ	講習の積極的な参加、資格取得など	○	・産廃講習会(処分課程)に参加した。 ・トラック運送業の「2024年問題」に向け講ずるべき対策のセミナーに参加。今後も、積極的にセミナー参加や資格取得に努める。

次年度の環境経営計画を継続する。

5. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

- ・自己チェックの結果、違反はありませんでした。
・関係当局からの違反の指摘及び訴訟は過去5年間ありませんでした。

管理責任者	担当者
 令和5年4月25日	 令和5年4月25日

法律名等	適用対象施設、設備、作業等	適用条項	適用内容、規制基準など	定期的確認 順守状況	判定
廃棄物の 処理及び 清掃に関 する法律	一般廃棄物収集 運搬業	許可の取得及び更新・事業の範囲 法7条1項、2項 令4条の5	・事業の内容に合致した許可を取得し、かつ2年ごとに許可の更新手続きを取ること ・委託されている一般廃棄物の処理は許可の内容と合致していること	令和5年4月25日	○
		変更の許可等 法7条の2	・事業を変更しようとするときは、あらかじめ変更の許可を取得すること	令和5年4月25日	○
		収集運搬・保管の表示など 法6条の2第2項 令3条	産業廃棄物の規定と同じ	令和5年4月25日	○
		帳簿の作成および保存 法7条15項、16項 規則2条の5	・帳簿を作成すること ・帳簿は一年ごとに閉鎖し、閉鎖後5年間保存すること	令和5年4月25日	○
		実績の作成及び報告 規則第41条	・実績を作成すること ・実績は月ごとに報告すること	令和5年4月25日	○
	産業廃棄物収集 運搬業	収集運搬車両の表示 法12条1項 令6条1項1号 規則7条の2の2第1項、3項	産業廃棄物収集運搬車 ○○株式会社 ○○○○○○号 (5cm以上) (3cm以上) (許可番号・下6ケタ。3cm以上)	令和5年4月25日	○
廃棄物処 理法	産業廃棄物処理 業	収集運搬車・備え付け書類 令8条1項	・許可書の写し ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)	令和5年4月25日	○
		運搬・保管の基準 法12条1項、2項	・処理基準に従い、運搬・保管すること	令和5年4月25日	○
		産業廃棄物管理票の写しの保存 法12条の3第8項、9項 規則8条の30	・産業廃棄物の運搬や処分を受託した者は、産業廃棄物管理票の写しを5年間保存すること	令和5年4月25日	○
		産業廃棄物処理委託契約 法12条3項、4項、5項 規則8条の2、3、4	・原則、2者契約であること(排出事業者と収集運搬業者) ・委託契約は書面により、許可証の写しを添付すること	令和5年4月25日	○
		産業廃棄物処理委託契約書の保存 法12条4項 令6条の2第4号 規則8条の4の3	・委託契約書等を契約の終了の日から5年間保存すること	令和5年4月25日	○
		許可の取得及び更新・事業の範囲 法14条1項、2項	・事業の内容に合致した許可を取得し、かつ5年ごとに許可の更新手続きを取ること	令和5年4月25日	○
		帳簿の作成および保存 法7条15項、16項 規則2条の5	・帳簿を作成すること ・帳簿は一年ごとに閉鎖し、閉鎖後5年間保存すること	令和5年4月25日	○
		投棄禁止 法16条	・何人もだりに廃棄物を捨ててはならない	令和5年4月25日	○
		焼却禁止 法16条の2	・何人もだりに廃棄物を焼却してはならない。	令和5年4月25日	○
		経営の届出 法第36条1項	国土交通大臣への届出	令和5年4月25日	○
消防法	対象物質 可燃ごみ・古紙・ 木くず	設備基準と点検 法第17条の3の3 規則31条の6	設備基準(消火器) 総合点検:1回/年	令和5年4月25日	○
浄化槽法	浄化槽	設置の届出 法5条	・浄化槽の設置又は構造の変更をする者は、知事に届け出ること。	令和5年4月25日	○
		法定検査 法7条・法11条	・設置後の水質検査:1回/年	令和5年4月25日	○
		保守点検及び清掃 法10条	・保守点検及び清掃:1回/年	令和5年4月25日	○
フロン排 出抑制法	業務用エアコン の管理者(使用 者)	法第5条 法第16条 経済産業省/環境省 告示第13条	・適切な場所への設置。設置する環境維持保全を実施。 ・全ての第1種特定製品について簡易点検を3ヶ月に1回以上実施。 ・点検、修理、冷媒充填、回収等の履歴を記録。廃棄するまで保存。 ・1000t-CO2以上の漏洩は届出が必要。	令和5年4月25日	○

6.代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し実施年月日	2023/6/30	
評価者	豊原 大造	
前回の指示への取組結果	電気使用量・・・消灯は徹底されていたが、温度設定が守れていなかった。また、部屋に無人の時のエアコンのつけっぱなしが目立った。 軽油使用量・・・委託ゴミは搬出時間内に出されており、再度収集することはなかった。 総排水量・・・水の出っぱなしもなく、節水されている。 環境コミュニケーション (外部)・・・今年も引き続き「やまぐち地域防災応援団」に登録。 (内部)・・・従業員のSDGsへの意識を高める為に、『SDGs未来への約束』を休憩室に掲げた。また、レポートにSDGsのアイコンをつけることで取組活動が何のSDGsにつながっているか、意識付けた。	
見直しのための情報		確認
①環境関連法規の遵守状況	○	
②環境経営目標の達成状況および環境経営計画の実施状況、その評価結果	○	
③問題点の是正処置及び予防処置の結果	○	
④外部からの苦情等の受付結果	○	
エコアクション21全体の取組状況の評価		
システムの有効性(EMSが機能しているか)	適	不適
社員全員で目標達成に向けて活動を行い、特に大きな問題点もなく是正処置の必要はなし、法規制遵守状況も問題なかった。 外部からの苦情の発生もなく、環境経営システムは機能している。(①、③、④等を踏まえて評価)		
取組状況の適切性(要求事項を満たしているか)	適	不適
ガソリン使用量・軽油使用量においては、環境経営の取組活動がよくできており、削減できている。 特に車両燃料の大半を占める軽油使用量においては、車両別の燃費やℓ当りの距離をグラフにし、見える化することで運転手の燃費削減の意識を高めることができた。 節水活動もよくできている。 廃棄物排出量・分別違反ゴミの削減も目標達成できており、今後も削減に努める。 電力使用量においては夏期に目標未達が目立ったので、エアコンは設定温度を急に下げる前にまず換気をする。 また、30分以上の外出時は電源offを徹底する。西日がきついので、グリーンカーテンも検討していく。 灯油使用量においては、暖房温度の適正管理だけでなく部屋の空気を循環させる。短時間天井に向けて扇風機をつけるなど、工夫していく。 LPG使用量においては、事務所併設の温泉利用が原因とみられるが、社員に快適に仕事をしてもらいたいので今後も使用量は現状維持とする。 廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮においては、今年度も苦情もなく、よく取り組んでいる。 外部環境コミュニケーションにおいては、引き続き「やまぐち地域防災応援団」に登録し、毎年秋頃に社内にて消火訓練を実施。また、水害等が起きた場合は状況をよく判断して、早めに総合支所へ避難することを呼びかけた。 その他の活動として、この度近隣の小学校に寄付金を送らせて頂き、AEDと担架・それを納めるケースを購入されたとの報告を受けた。今後も地域奉仕活動に力を入れていきたい。 内部環境コミュニケーションにおいては、セミナーや講習に積極的に参加した。今後の事業計画に役立てていければと思う。 (②等を踏まえて評価)		
代表者による見直し	変更の必要性の判断	
環境経営方針	有	なし
実施体制	有	なし
環境経営目標及び環境経営計画	有	なし
環境経営システム	有	なし
今後も創意工夫による業務改善を社員一丸となって取り組み、地域環境保全活動を展開していきたい。		